

研修プログラム

バス運転士になるには「大型二種免許」の取得が必須です。
そして、バス運転士になり「一人乗務デビュー」するには特別な研修が必要になります。
研修期間と内容は、入社時の「免許」と「バス運転士の経験」により異なります。

入社時(初任研修)

未経験者

バス運転士経験者

普通免許 / 大型一種免許

大型二種免許

大型二種免許

STEP
01 大型二種免許
取得のため
自動車学校へ入所

※自動車学校は居住地により決定いたします。

約1カ月

STEP
02 安全研修センター
(しずてつジャストライン)へ入所

未経験者 / 2~3カ月

バス運転士経験者 / 約2~4週間

しずてつジャストラインのバス運転士養成研修を行う専用施設「安全研修センター(静岡市清水区鳥坂)」で研修を受けます。バス運転士になるまでに、習得が必要な知識や運転技能が約9段階あります。

※バス運転士経験者は、研修期間・内容を経験および技能に応じて考慮します。

1. 座学研修の部

- (1) 道路交通法、道路輸送法の知識 ★
- (2) 事故防止の知識 ★
- (3) バス運転士の心得 ★
- (4) 営業規則に関する知識
- (5) 接客接遇のルール
- (6) 車内機器操作の知識

2. 実技研修の部

- (1) コース内走行 ★
(安全確認・運転操作・基礎訓練・適性診断指導)
- (2) 路上走行
(実践に基づいた路上研修・夜間教習など)
- (3) 車両点検

★印 = 経験により研修を短縮できる項目

卒業

※検定終了後、当社へ配属

STEP
03 配属後研修 3~4週間

当社に配属後、指導運転士付きで約1カ月実践に基づいた教習を行い、一人乗務を目指します。

1. 座学研修の部

- (1) 路線の教育
- (2) 危険箇所の教育
- (3) 運賃箱の取り扱いなど

2. 実技研修の部

- (1) 路線教習(バス停や路線別の危険箇所の確認)
- (2) 車いす対応
- (3) 運賃収受の訓練

一人乗務デビュー

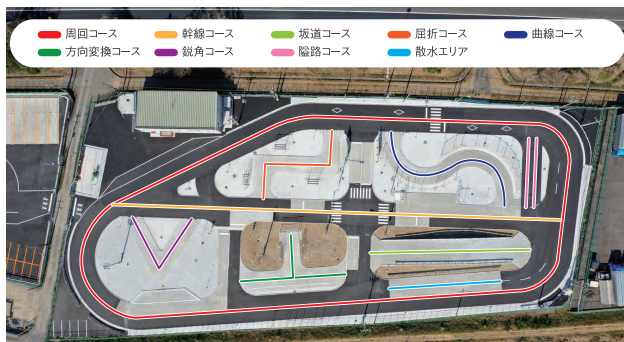
安全研修センター

県内初のバス専用コースを備えた研修施設を完備。
年齢・経験を問わず、安全運行に必要な
技能・心構えを身につけられるよう、
個人の技量に応じた
研修プログラムを用意しております。



メインコース全体図

メインコースは指定自動車教習所基準の各種課題コースが設置されています。
入社後はこれらのバス専用コースの使用により、運転技能の向上を図ります。



鋭角コース



屈折コース



散水エリア



方向転換コース



曲線コース

研修棟

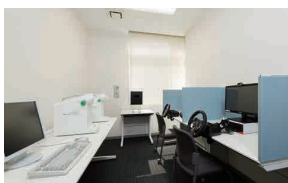
模擬訓練室では本物のバスをカットした模擬車両を備えており、実際のバスと
同条件で接客接客やワンマン機器の操作等を学ぶことができます。
また、運転適性診断が受講できる検査室を備えており、「運転のくせ」を様々
な角度から測定し、運転技能の向上に活用しています。



模擬訓練室



危険予知訓練



検査室



適性診断

安全運転訓練車

安全確認行動の定着および運転技能の向上を目的に導入した車両です。
なお、災害時にもバスの運行を継続する為の運行管理機能を装備しています。



視点計測 (アイマークレコーダー)

運転時にどこを見ているか、目配りのくせが理解できます。



映像収録・動揺計測 走行データ計測

運転時の加速度やブレーキ、ウインカーやドアの開閉などをリアルタイムで表示・視聴できます。



安全確認装置

発車や右左折などの際に安全確認が正しく行われているかチェックできます。



燃料消費体感装置

2Lの2本のシリンダー計で自身の運転の燃料消費について理解します。主に低燃費走行研修の際に使用します。

